



徳島県木材買方協同組合は、昭和51年10月に設立された協同組合です。木材・竹材の卸売業や一般製材業を営む中小企業者たちが集まり、木材業界の活性化および地域社会への貢献を目指して活動しています。

設立以来48年間、木材を通して徳島県下の地域社会に貢献してきました。徳島県産木材の魅力を発信する。未来を担う子供たちに木の温もりを伝える。持続可能な社会の実現に貢献する。これらを実現するためにたゆまぬ努力を続けています。

組合概要

主たる業種	木材・竹材卸売業、一般製材業
組合専従者数	1名
組合員数	79名
組合員の資格	(1) 一般製材業、又は木材・竹材卸売業を行う事業者であること (2) 組合の地区内に事業場を有すること
設立年月日	昭和51年10月9日
出資金	2,870千円
事業内容	(1) 組合員の事業に関する経営及び技術の改善向上、組合事業に関する知識の普及を図るための教育および情報の提供 (2) 組合員の福利厚生に関する事業 (3) 組合員に対する事業資金の貸付および組合員のためにする借入れ (4) 組合員の経済的地位の向上のためにする団体協約の締結 (5) 組合員のためにする宣伝事業

🌲 1. 設立の背景と目的

戦後の混乱期、木材取引の秩序が乱れる中、徳島県下の木材事業者たちは、公正な取引と安定供給を実現するために結束しました。それが、徳島県木材買方協同組合の前身となる任意組合の誕生です。

そして、昭和 51 年 10 月 9 日、中小木材事業者の商権擁護と木材業界のさらなる活性化を目指し、協同組合を設立しました。

🌲 2. 組合の沿革

昭和 51 年 10 月	徳島県木材買方協同組合設立
昭和 61 年 6 月	移動木工教室開始
平成元年 4 月	組合創立 40 周年記念式典開催
平成元年 9 月	組合創立 40 周年記念誌「40 年のあゆみ」発刊
平成 6 年 10 月	木材トラック PR シール作成
平成 12 年 4 月	組合創立 50 周年記念式典開催
平成 12 年 12 月	組合創立 50 周年記念誌「阿波の木商 50 年」発刊
平成 20 年 10 月	児童木工工作「木とふれあうコンクール」開始
平成 20 年 12 月	Web サイト「いい端材どっとこむ」作成
令和 5 年 3 月	「組合 SDGs 活動指針」策定
令和 5 年 10 月	徳島 SDGs パートナー制度登録

🌲 3. 共同事業等の取り組み内容

(1) 木材需要推進事業

当組合は、木材の魅力を再発見してもらい、需要を創造するために、様々な PR 活動を展開しています。

① とくしま木づかいフェアへの出展

毎年開催される「とくしま木づかいフェア」では、木材製品の展示や木工体験教室、相談コーナーなどを設置。木材の良さを体感できる機会を提供しています。木の温もりや香りを活かした空間づくりで、来場者に木材の魅力を伝えています。



② 徳島県木材認証制度の啓発・普及

消費者が安心して徳島県産木材を選ぶよう、認証制度の周知徹底に努めています。認証マークが付いた木材を選ぶことで、消費者は森林保全に貢献することができます。

(2) 木育活動の推進

未来を担う子供たちに、木の文化を継承していくことを使命として事業を行っています。

① 移動木工教室の開催

子供たちに木材に親しみ、ものづくりの楽しさを体験してもらうことを目的とした移動木工教室は、当組合の看板事業です。昭和 61 年から開始した本事業には、毎年多くの子供たちが参加し、木の温もりやものづくりの楽しさを体験しています。



② 木とふれあうコンクール

毎年夏休みに開催されるこのコンクールは、子供たちの自由な発想を形にする場を提供しています。報道機関の後援も得て、県内の小学校 44 校が参加する規模へと成長しました。選抜された作品は、県庁やふれあい健康館で展示されています。



③ 徳島木のおもちゃ美術館への参画

子供たちが遊びを通して木材に親しめるよう、木の温もりを活かした遊具を設置している「徳島木のおもちゃ美術館」。当組合が基本構想から積極的に参画しました。

(3) SDGs 事業の推進

木材運搬手数料の適正受領を目指す SDGs 宣言は、組合員の経営安定化に大きく貢献しました。公正取引委員会の審査を経て作成された啓発資料は、県内関係機関だけでなく、全国の組合へと広がりを見せています。東京、名古屋、大阪、京都、神戸、岡山など、多くの地域でこの取り組みが紹介され、木材業界全体の課題解決に向けた動きとなっています。

また、働き方改革としてのパワーアシストスーツ導入も、SDGs の目標 8「働きがいも経済成長も」に合致する取り組みです。

令和 5 年 10 月には、徳島 SDGs パートナー制度にも登録されました。



(4) 働き方改革事業

当組合は、組合員企業の労働環境改善と労働年齢延長を支援するため、働き方改革事業にも取り組んでいます。その一環として、「パワーアシストスーツ」を導入し、組合員企業で働く高齢者や女性の負担軽減を図っています。



(5) 教育情報事業

経営に関することや、補助金、インボイス制度など、時代に合わせた研修会を開催しています。

また、組合員向けの定期的な会報誌やパンフレットの配布、講演会や勉強会の開催を通して、組合員の知識やスキルを深める機会を提供しています。

(6) Web サイト「いい端材どっとこむ」の運営

Web サイト「いい端材どっとこむ」を運営し、組合員から出品された木材や木製品の販売を行っています。木材の有効活用を促進するとともに、組合員の販路拡大を支援しています。



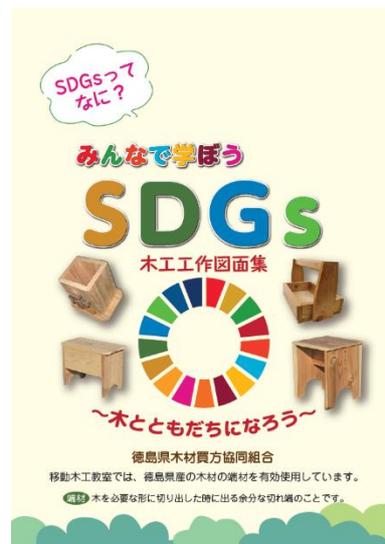
🌲 4. 地域貢献・社会貢献について

(1) 木育活動

当組合は、昭和 61 年から続く移動木工教室をはじめ、様々な木育活動を展開しています。移動木工教室では、子供たちが自分の手で木工製品を作る喜びを体験できると好評です。

木とふれあうコンクールでは、自由な発想を形にすることで創造性を発揮します。10 団体の後援のもと、令和 6 年のコンクールは第 16 回目の開催となりました。前身のコンクールからの開催数は累計 46 回となります。

また、徳島木のおもちゃ美術館に参画することで、安全で楽しい木の遊具に触れる機会の創出に貢献しました。これらの活動を通して、子供たちに木の文化を継承し、持続可能な社会の実現に貢献したいと考えています。



（２）出前授業・木工製品の寄贈

当組合は、小学校等の教育現場での出前授業を行っています。木工の授業を通して、生徒達のみならず、教員の方にも木に触れる機会を提供しています。
加えて、幼稚園の卒園記念品として木工製品を寄贈しています。

（３）児童福祉施設への木製遊具の寄贈

当組合は、これまでに 11 か所の児童福祉施設に、木製遊具を寄贈してきました。木の温もりを活かし、環境にも優しい遊具は、子供たちに安心感と心地よさを与えます。

🌲 ５．組合設立・組織化の効果・メリットについて

協同組合という組織形態は、組合員にとって様々なメリットをもたらしています。例えば、生命保険や損害保険を団体扱いで提供することで、組合員の経済的負担を軽減しています。これは、組合員数が 79 名という規模の力です。

また、日亜化学工業株式会社の基金事業から、設立当初から 10 年間にわたり継続的な助成を受けていることも、協同組合という組織の信頼性と活動実績が評価された結果でしょう。この基金は、地域貢献活動を行う団体に対して利用できるもので、当組合では、未来を担う子供たちのために木育活動に充てています。

さらに、組合化によって活動規模や範囲が拡大し、徳島県全体を網羅する活動が可能となりました。県内各地で木育活動や木材需要拡大のための PR 活動を展開できるのは、組合員が一丸となって活動しているからです。

これらの活動は、組合員の事業継続と成長を支えるだけでなく、地域経済の活性化にも大きく貢献しています。そして、これこそが、協同組合という組織の真価と言えるでしょう。



🌲 ６．今後の方向性について

（１）SDGsの全国展開

徳島県から始まった運搬手数料適正化の動きは、全国各地の協同組合に広がりを見せています。今後も他府県への普及活動を続け、木材業界全体の SDGs 達成に貢献していきます。

(2) 新たな木育事業

令和7年度からは、端材を利用した鳥の巣箱キットの販売も開始。子育て中の家庭など、より多くの方に自然素材である無垢材に触れてもらう機会を提供し、木の良さ、木材の大切さを伝えていきます。

集成材はアレルギーやシックハウスの原因となる場合があるため、無垢材の良さを啓蒙することは重要だと考えています。



🌲 7. 中央会を利用して良かった点について

中央会は、組合活動にとってまさに頼れるパートナーです。SDGsに関する知識やノウハウの提供、補助金活用のサポート、他業種組合との交流機会の創出など、多岐にわたる支援を受けています。特に、SDGs活動指針の策定や啓発資料の作成においては、中央会の専門的なアドバイスが大変役立ちました。

また、中央会を通して他業種の協同組合と繋がった事例もあります。中央会は、組合活動の幅を広げ、新たな可能性を拓くための貴重な存在です。

🌲 8. 中央会担当指導員のことば



藤原係長

徳島県木材買方協同組合は、中嶋理事長の積極的なリーダーシップのもと、大阪専務理事が時代に即した事業を推進されています。特に地元の子供たちを対象とした「移動木工教室」は夏休みの人気イベントとなっており、参加した親子から高い満足度を得ています。このイベントは多くの組合員様の協力によって実現しているものです。さらにSDGs事業にも、多くの組合員が参加されており、その環境意識の高さがうかがえます。

徳島の木と人が織りなす、持続可能な未来

徳島県木材買方協同組合は、木材を通して地域社会に貢献し、木の文化を未来へ繋ぐことを使命としています。

教育の場においても、木の良さを伝える活動を積極的に展開し、子供たちの健やかな成長をサポートしていきたいと考えております。

木材を、現代のライフスタイルに合わせた形で提案することで、より多くの方に木の魅力を知っていただき、徳島県の木材産業の継続的な発展に貢献したいと考えております。



組合代表者（役職・氏名） 理事長 中嶋 修三

住所 徳島市津田海岸町5番43号

URL <http://www.e-hazai.com/>

電話番号 088-662-3714

FAX番号 088-662-3849

